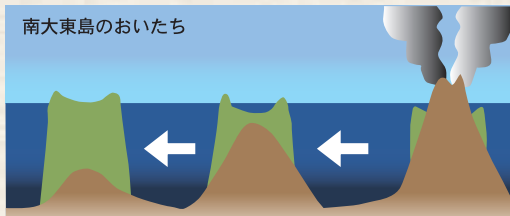


地勢

minami daito

本島は、標準的珊瑚環礁の隆起したもので東西5.78km、南北6.54km、周囲20.8km短楕円形で海岸線から内側に環状に露出した岩石地帯があり、この地帯を利用して二重又は三重に防風・防潮林が設置され、耕地を囲んでいます。最内側の防風林から内部を幕下、外部を幕上と区別し幕上は環状丘陵地帯、幕下は盆地となっています。

山はなく一番高いところが標高75.8mで大体平坦地です。島の各所に鍾乳洞があり中央部には面積47haもある大池を始め、多数の池沼が散在しています。島の総面積は30.57km²でその約6割が農耕地となっています。

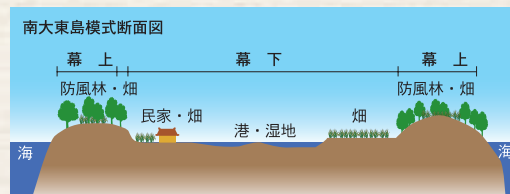


〈現在の南大東島へ〉 珊瑚礁が輪を描くように隆起し頂上部のリーフとラグーン陸地となって現在の南大東島ができ上がりました。
〈サンゴ環礁の出現〉 火山活動の停止とともに島が沈みはじめ、せり上がるようにサンゴ礁が堆積し、海面に達するまでに成長しました。
〈起源の南大東島〉 約4800万年前。現在のニューギニア諸島付近に火山島として誕生した南大東島。周囲にはサンゴ礁が発達しています。



サンゴ礁の堆積によっていまの島の形ができあがった南大東島。厚さが数百mから1,000mにもなる石灰岩が島の周囲にせり上がっているため、南大東は縁が高く中央部が凹んだ地形、つまりお盆を海に浮かべたような形をしています。

この盛り上がった縁のことを「幕(はく)」といい、平らな部分は「幕下」、高い部分は「幕上」と呼ばれています。こうした島の生い立ちは世界的にも珍しく、隣の北大東島を含めて世界に十数例しかないといわれています。



※池の水位は海拔0mで、潮の干満によって上下します。

位置

沖縄本島の東方海上約360km、北緯25度50分47秒東経131度14分23秒に位置しています。北に約8km隔てる北大東島と相対し、南に約160km離れた沖大東島を含め大東諸島と呼んでいます。



地形



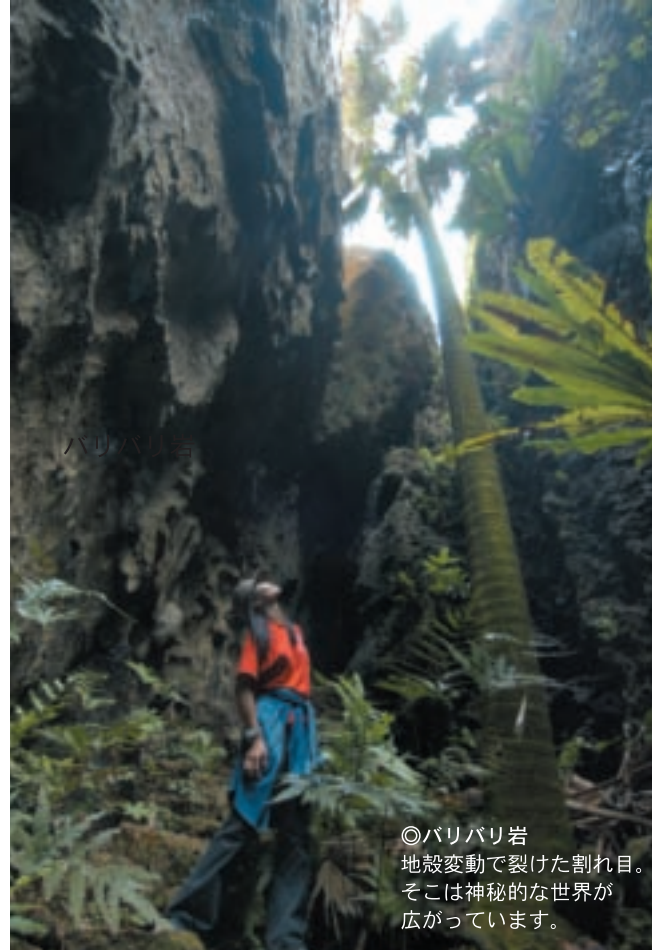
南大東島の南側より空撮

想像を超える旅がある。 数万年の時を経て形作られ、数百万年 前からの旅を今も続ける神秘の島。

南大東島は動いている。地球のベルトコンベアに運ばれ続ける大東諸島が持つ、神秘の起源についてお話ししましょう。今から約4800万年前。ニューギニア諸島付近のフィリピン海プレート上に小さな火山島が誕生しました。プレートの動きとともに北上していた火山島は、約4200万年前に沈下。島が沈むのと同じ速さで頂上部にサンゴが堆積し、約2500万年前に現在の形となりました。

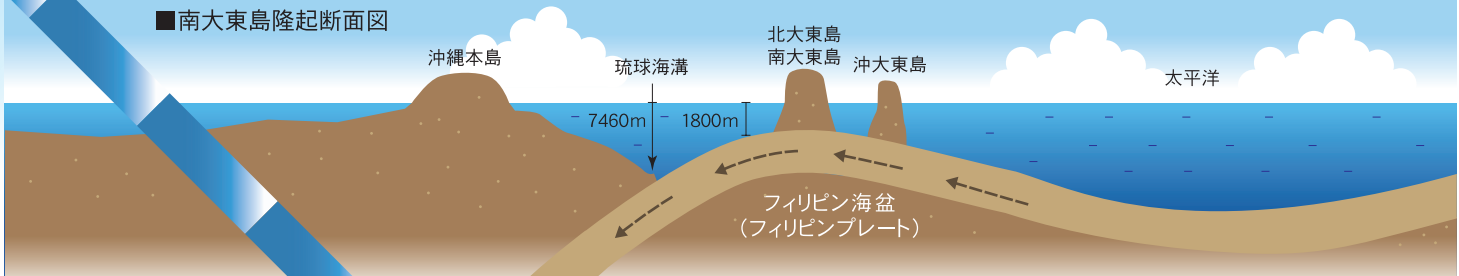
そして約600万年前。長く海に沈んでいた島は、プレートが進む方向を変えて琉球海溝に沈み始めた反動で次第に隆起し、南大東島ができあがったのです。南・北大東島は、元々同じ火山島が約4000万年前に2つに分かれた兄弟島と見られており、隣り合う沖大東島もほぼ同じ経過をたどってきた漂泊の島です。

約4800万年という長い時を3200キロの旅をして現在の海域に浮かぶ南大東島は、絶え間なく動くプレートとともに、今も年間約5cm沖縄本島方向へと移動を続けています。



◎バリバリ岩
地殻変動で裂けた割れ目。
そこは神秘的な世界が
広がっています。

■南大東島隆起断面図



4,800万年前

約4800万年の時を経て、
ニューギニアが位置する海付近から
現在地へ3200キロの長い旅を
続けてきた大東3島

サンゴの島ならではのカルスト地形による 国内有数の湖沼群。

南大東島を空から飛行機で見下ろせば、大半の人が「池のたくさんある島だ」と感じるはず。現在、沖縄県内にある1ha以上の天然の湖沼は14個と考えられていますが、驚くべきことにそのすべてが南大東島にあります。

これだけ多くの湖沼を持つわけは、石灰岩の中の炭酸カルシウムが溶けてできるカルスト地形がもたらすもので、日本最大規模の湖沼群といわれています。

気候



本島は亜熱帯海洋性気候で年間平均気温は23.4度と割合に温暖で冬季は北東季節風が、夏季は南東季節風が吹き気候は完全に区分されます。年間平均降水量は1500ミリ内外で沖縄本島や宮古島より少ない。夏から秋にかけての台風シーズンで島民は天気予報に耳を傾け一喜一憂し、また台風が少ないと高温な天気がつづき、干ばつとなりこれまた恐れられています。

